

岐阜本巣特別支援学校との共同学習

私たちは、いままでに学んだ知識・技能を地域社会に還元したいと思い、高校3年間の集大成としての課題研究の授業で岐阜本巣特別支援学校との共同学習に取り組みました。両校での話し合いの結果、それぞれに培ってきた木工についての知識・技能を出し合い、互いに意見・交流や作業分担を図りながら、本巣特別支援学校の体育館外壁に下足箱を製作・設置することと、同セミナーハウスの玄関ホール上り口に木製スロープを製作・設置することを決めました。作業期間は、5月から9月初旬まで、相互に計4回、それぞれの学校を訪れ、共同製作を進めました。

回数を重ねるうち、互いの良さを感じ合うほどの関係を築けるようになりました。2つのグループに分かれて、それぞれの作業にかかりました。左上の写真が木製スロープ、右上がの下駄箱の製作風景です。共同での作業は、3回行いました。下の写真は、交流最終日の 下足箱とスロープの設置作業の様子です。

右下の写真は体育館壁面に設置が完了した下足箱で、左下の写真はセミナーハウスアプローチへのトラック等の車両用スロープです。これは重量がかかるので縞鋼板を溶接して製作しました。

